

令和8年度 川崎市立御幸中学校『SELF（総合的な学習の時間）』全体計画

第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

御幸中学校 教育目標

心を磨き、
地域・社会に貢献できる人へ
自律心・向上心
認め合う心・思いやる心
協力する心・感謝する心

御幸中学校 総合的な学習の時間（SELF）の目標

「心を磨き、地域・社会に貢献できる人へ」という学校教育目標のもと、地域と関わりを深めながら探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習をすることを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能

探究的な学習のよさを理解し、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。

(2)思考力、判断力、表現力等

地域との関わりや身近な学習材を通して、課題を解決する情報を集め、自らが考え、整理・分析をして他者を意識した表現をすることができるようにする。

(3)学びに向かう力、人間性等

学習に主体的・協働的に取り組み、自己や周り、地域のことを意識しながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

総合的な学習の時間（SELF）の内容

学年	探究課題/単元名	育成を目指す具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
1年	探究の仕方を学ぼう	・探究的な学習の過程において、それぞれの探究課題についての事実に知識や技能、概念的な知識を身に付け、探究的な学習に取り組むことができる。	・課題を設定し、探究に必要な情報を収集し、整理・分析した結果や自分の考えをまとめ、他者に伝えることができる。	・探究的な学習の目的や意義を理解し、主体的かつ協働的に学ぼうとしている。 ・探究的な活動を通して学んだことと自己理解を結びつけ、自分の将来について夢や希望をもとうとしている。
	現代社会の諸問題について、今自分にできることを考えよう(キャ)TRUNK	・探究的な学習の過程で、各教科との学習を関連付け、現代社会には持続可能性をはじめとした諸課題があることを理解できている。	・目的に応じて情報を収集し、整理・分析ができる。 ・相手や目標を意識して、表現できている。	・探究的な活動を通して、異なる意見や考え方を尊重し、協働的に学習に取り組もうとしている。 ・現代社会の諸課題を知ることで参画意識をもって社会と関わろうとしている。
2年	探究をまとめていこう	・探究的な学習の過程において、それぞれの探究課題についての事実に知識や技能、概念的な知識を他のことからめながら探究的な学習に取り組むことができる。	・課題を設定し、探究に必要な情報を収集し、整理・分析した結果や自分の考えをまとめ、他者に伝えることができる。	・探究的な学習の目的や意義を理解し、主体的かつ協働的に学ぼうとしている。 ・探究的な活動を通して学んだことと現代的な諸課題を結び付け、自身の課題と社会の課題を見つめようとしている。
	職業について知り、働く意義や適性について考えよう(キャ)職業体験	・職業には様々な種類があることや働いている人はそれぞれ思いをもち、工夫していることを理解している。 ・働く意義の一つに社会への貢献があることを理解し、学習や様々な経験が社会に出たときに役立つことを理解している。	・自ら課題を設定し、解決の手段を考えている。 ・調べ学習、体験学習などを通じ、必要な情報を集め、多面的・多角的に分析している。 ・相手や目的を意識して、論理的に表現する。	・探究的な活動を通して、主体的に活動に取り組む、その楽しさや自分自身の成長を実感する。 ・仲間とそれぞれの長をいかしながら協働的に活動し、課題の解決に取り組む。 ・体験活動を通して、役割や責任ある行動について考え、実生活に役立てる。
3年	自身の探究を発信しよう	・探究的な学習の過程において、それぞれの探究課題についての事実に知識や技能、概念的な知識を地域や社会の人々の思いの大切さからめ、探究的な学習に取り組むことができる。	・収集した情報を視点を定めて分析し、他教科で培った表現力等を活用したり、学習の仕方を振り返り、他者に自身の探究について発信できている。	・探究的な学習の目的や意義を理解し、主体的かつ協働的に学ぼうとしている。 ・探究的な活動を通して学んだことと現代的な諸課題を結び付け、自身の課題と社会の課題を見つめようとしている。
	日本の文化 私の現在、そして将来(キャ)進路学習	・過去に生きていた先人の願いや努力で私たちの現在の生活があることを知る。 ・自己の将来に対し、夢や希望をもつこととともに、具体的な見通しをもつことの大切さを知る。	・疑問をみつけ、自ら課題を設定し、解決の手段を考える。 ・体験活動などから必要な情報を集め、多面的・多角的に分析する。 ・相手や目的に応じて表現方法を工夫し、わかりやすく伝える。	・探究的な活動を通して、主体的に活動に取り組む、その楽しさや自分自身の成長を実感する。 ・仲間とそれぞれの長をいかしながら協働的に活動し、課題の解決に取り組む。 ・自己の生き方を振り返り、将来を見据え、正しい行動をとる。

各教科等で育成する資質・能力/教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力例

情報活用能力	考える技法	指導体制
<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、情報収集する。 シンキングツールを活用し、情報収集したものを整理・分析する。 ICT機器を活用し、まとめ・発表をする。 プラットフォームやTRUNKを活用し、思考の場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科で導入しているシンキングツールを活用する。 FigjamのプラットフォームやTRUNKを活用し、知識や思考を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性を生かし、地域と連携しながら取り組む。 課題の設定・解決のために必要な諸機関、企業、団体と連携を図る。 各教科の学習内容や特性、見方・考え方をいかし、全教員または各学年職員で連携し、学校として一貫した方向性で取り組む。 クラス単位でなくゼミ形式で進めていく。